

「岸和田市のまちづくりのルールを学ぼう！ 自治基本条例って何だ？」指導案

■本教材のねらい

- ①政治及びまちづくりの主役は自分自身であり、まちづくりに参加できることに気づけるようにする。
- ②岸和田市では市民を主役に位置づけた、まちづくりのルール「岸和田市自治基本条例」があることを理解できるようにする。

■本教材の対象学年（社会科の授業のなかで活用することを想定しています。）

小学6年生 ※ただし、小学6年生以外への使用をさまたげるものではありません。
（市では幅広い年代への活用を想定しています。）

■本教材を使用する授業の位置づけについて

東京書籍『新しい社会6下』の大単元「わたしたちの生活と政治」を学習後、もしくは「わたしたちの生活と政治」のなかの「子育て支援の願いを実現する政治」または「震災復興の願いを実現する政治」の学習後に1時限（45分）を利用し、本教材を活用した授業を行う。

■本教材の構成

（1）動画【DVD／動画ファイル】（全編 約24分）

1章 オープニング（約1分）

2章 まちづくりと政治（約10分30秒）

- ・まちづくりと政治
- ・岸和田市の政治
- ・助け合いのまちづくり～自助・共助・公助から考える～

3章 自治基本条例（約10分30秒）

- ・自治基本条例
- ・自治基本条例を理解する3つのキーワード～協働・参画・情報共有～

4章 エンディング（約2分）

（2）指導案（B5・モノクロ/PDF）…本書

（3）音声スクリプト（A4・カラー/PDF）…登場キャラクターのセリフ全てを掲載したもの。

（4）ワークシートA（B5・モノクロ/PDF・ワード）…動画の内容を理解するためのもの。

（授業中での活用を想定）

（5）ワークシートB（B5・モノクロ/PDF・ワード）…授業終了後に岸和田市をどんなまちにしたいか児童に考えてもらうためのもの。（家庭学習やグループワークなどでの活用を想定）

（6）自治基本条例タブロイド版（A3・単色カラー/PDF）…条例全体の内容を掲載したもの
（指導に当たった参考資料）

■本教材の使い方

下記(1),(2)のどちらかの方法を選択し、指導案(本書)、音声スクリプトやワークシートAを活用しながら、授業を進めてください。必要に応じてワークシートBもご活用ください。なお、条例の全体像については自治基本条例タブロイド版をご参照ください。

- (1) 適宜動画を停止し、指導する。
- (2) 動画すべてを児童に見せた後、指導する。

※動画は、字幕あり・なしを選べます。

■指導内容(動画全編 約24分)

デジタル教材	子どもたちの活動と内容	指導上の留意点
<p>・オープニング</p> <p>1 まちづくりと政治</p> <p>2 岸和田市の政治</p> <p>00:00~</p> <p>06:32</p>	<p>---デジタル教材を上映する前に---</p> <p>①デジタル教材についての話を聞く</p> <p>教これまで政治の仕組みについて勉強してきましたね。</p> <p>みんなに岸和田市の政治やまちづくりのことを知ってもらうために市役所がつくったデジタル教材を今から見ていきましょう。</p>	<p>○これまで学習した政治の仕組みを児童に想起させ、これから岸和田市の政治やまちづくりについて学習することを知らせる。</p> <p>○各学校で取り上げた事例の学習の後、このデジタル教材は岸和田市が作成した教材であることを知らせる。</p>
<p>3 助け合いのまちづくり</p> <p>06:33~</p> <p>11:34</p>	<p>②助け合いのまちづくりについて、話し合う。</p> <p>教岸和田市でもよりよい社会をつくるために、代表者を選び、みんなの手でまちづくりを進めているんだね。助け合いのまちづくりを進めるのに、大切なことが3つあります。デジタル教材を見ながら見つけましょう。</p> <p>教3つの大切なこと、見つけましたか?</p> <p>子自助, 共助, 公助です。</p> <p>教それぞれ、どんなことですか?</p> <p>子自助は、自分の身のまわりでできることを自分自身で実施することです。共助は、みんなで協力し合ってまちをよくする取り組みです。公助は、公的機関などが、市民みんなのためにサービスを提供することです。</p> <p>教例えば、阪神淡路大震災のような大きな地震に備えて、それぞれどんなことができるのでしょうか。ワークシートAに書いてみましょう。</p> <p>教どのようなことを書きましたか?</p> <p>子.....</p>	<p>○代表者や市にお願いするだけでなく、自分自身にできることが多くあり、みんなで役割分担し、協力し合うことが重要であることをとらえさせる。</p> <p>○助け合いのまちづくりで大切なことが3つあることを知らせ、デジタル教材の「助け合いのまちづくり」を見せる。</p> <p>○自助, 共助, 公助の3つを見つけた後、どのようなものか、黒板に示すとともに、ワークシートAに書かせる。</p> <p>○事例を知らせ、それぞれどんなことができるのか、ワークシートAに書かせる。</p>

<p>4 自治基本条例</p> <p>5 自治基本条例 を理解する3 つのキーワー ド</p> <p>11:35~ 22:01</p>	<p>③自治基本条例について考える。</p> <p>教市民が主役になって自分たちのまちをつくるために、岸和田市が大阪府で最初につくったルールがあります。これを自治基本条例といいます。自治基本条例を理解する3つのキーワードがあります。デジタル教材を見て、考えましょう。</p> <p>教3つのキーワードを見つけましたか？</p> <p>子協働、参画、情報共有です。</p> <p>教それぞれどんなことでしょうか？</p> <p>子協働は、みんながそれぞれの役割に基づいて、まちづくりを進めることです。参画は、みんなが意見を出したり、一緒に取り組んだりすることです。情報共有は、みんなが情報を十分に共有していることです。</p>	<p>○動画「協働」で「市役所も協力して川の清そうをする」ことが公助に位置付けられている。これは、「川の清掃で集められたゴミをパッカー車で回収する」からであるが、共助と混同する児童がいる場合や児童から質問があれば、説明する。</p> <p>○協働、参画、情報共有の3つを見つけたあと、どのようなものか、黒板に示すとともに、ワークシートAに書かせる。</p>
<p>6 エンディング</p> <p>22:02~ 23:49</p>	<p>④自分たちでできるまちづくりについて考える。</p> <p>教岸和田市を「○○なまち」にするために、自分たちは何ができるでしょうか？ワークシートBに書きましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今は、どんなことが課題で、だから、どんなまちにしたいか。 ・「自助」「共助」「公助」の各視点からどんな取り組みができるのか。 	<p>○「自助」「共助」「公助」の連携・協力が協働であり、それらがうまく機能するためには情報共有や参画の仕組みが必要になってくることを伝える。</p> <p>○最後の「考えてみよう」のシーン（23:22）を見せ、ワークシートBに書かせる。時間がない場合は、家庭学習とする。</p>